

人文書・歴史書 ご担当者 様

有志舎の新刊です。2026年3月下旬刊行

シリーズ「問いつづける民衆史」(全11巻) 第3回配本

「民衆」のロスアンゼルス

—レイシズムに抗う文化と知—

土屋和代 著

四六判・ハードカバー・332ページ 本体価格 3,200円

ロスアンゼルスของサウス・セントラルを舞台に、警察暴力と貧困、レイシズム、排外主義に抗する文化と知を創造し、支えてきた人びとの歴史を生き生きと描き出す。

【目次】

序章 サウス・セントラルという闘争の(場)へ
第一章 ロスアンゼルスにおける長い黒人自由闘争とシャーロット・バス——「民衆」のための政治
第二章 (廃品(ジャンク))からの創造——「民衆」のタワー
第三章 「表現という剣」——ワッツ・ライターズ・ワークショップと「民衆」の詩
第四章 「歴史をつくることは闘いである」——「民衆」の図書館
第五章 「多人種都市」を描く——「民衆」の壁画
第六章 「民衆」を編み直す——一九九二年ロスアンゼルス蜂起/反乱における多重の声
終章 再編される文化と知

〈著者紹介〉土屋和代(つちや かずよ):東京大学大学院総合文化研究科教授(アメリカ現代史)

～版元から～ 「多人種都市」ロスアンゼルス——南カリフォルニアの陽光輝くこの大都市は、一方で有色の人びとを潜在的な「脅威」とみなして監視・取締り・収監してきた長い歴史を持ってきました。本書は、このサウス・セントラル地区を中心に、アート建築、新聞、自伝などのエゴ・ドキュメント、詩、図書館、壁画、脚本を主な題材にして、こうした警察暴力と貧困、レイシズム、排外主義に抗する文化を創り、支えてきた無数の人びとに注目します。そして、そこで創造された文化と知がどのように社会運動を後押しし、新しい政治闘争の場を生み出していったのかを明らかにして、今も継続する「「民衆」のロスアンゼルス」を築くための闘いを描き出します。

〒166-0003 東京都杉並区高円寺南4-19-2 クラブハウスビル1階 (有)有志舎 電話:03-5929-7350

番線印	ご注文	発行:有志舎	分野
	冊	〈問いつづける民衆史3〉 「民衆」のロスアンゼルス —レイシズムに抗う文化と知— 土屋和代 著	アメリカ史 (現代)
	ご担当	四六判・ハードカバー、332ページ 本体価格 3,200円	弊社はいつでも返品を受け付けていますが、逆送のご心配がある場合は、「永滝 了解」として返品下さい。
	様	新刊 ISBN978-4-908672-88-0 C1022	

ご注文は 有志舎 担当:永滝(ナガタキ)まで FAX:03-5929-7352

当社商品の取扱取次はトーハン・JRC・八木書店ですが、日販・楽天BNほか、いずれの取次でも左記取次経由で送品します。なお、JRCからも同じ注文書が重複して送られた場合は、この注文書だけを弊社にご返信ください。